

サポート通信

サポート通信は、東海市ファミリーサポートセンター 援助・両方会員向け情報誌です。

梅雨の晴れ間に、夏の気配が感じられるようになりました。コロナによる制限が緩和されて、少しずつ以前の生活が戻りつつあるように感じますね。

今年度で東海市ファミリーサポートセンターは発足20周年を迎えます。援助活動は、助けてもらいたい人だけでは成り立ちません。ここまで続けてこられたのは、助けてあげたいという優しい気持ちで登録して下さり、援助に携わって下さった皆さんのお力添えのおかげです。ありがとうございます。また、これからも無理のない範囲でお手伝いいただけたら嬉しいです。

今年度も、アドバイザー林、森岡で頑張りますので、よろしくお願い致します！

登録講習会・救命法講習会について

援助・両方会員に対して、国より5年に一度の救命法受講が義務づけられています。救命法講習に限らず、その他の講習も、会員さんにご参加いただけます。登録の時から受講していないな…忘れてしまったところがあるな…という方も、最新の内容を学びたい！という方も、ぜひお申し込みください。

《令和5年》

《令和6年》

10月24日(火) ・ 2月27日(火) 概要・保育士『遊びと関わり』

25日(水) ・ 28日(水) 保健師『子どもの健康と病気』・救命法

時間 9:00~12:00頃(救命法のみ10:15~12:00)

場所 市民活動センター大会議室



今年度の予定

《令和6年》

1月31日(水) ステップアップ講習会

講師 東内留里子先生

時間 10:00~11:30

場所 市民活動センター大会議室

☆ファミサポ20周年ということで、ファミサポの歴史などについてお話しただけらと思っております。ぜひご参加ください！



援助活動中のマスク着用の考え方について

東海市では、マスクの着用について、個人の判断に委ねるとしており、ファミサポも同様の考え方をしていきます。ただし、依頼側も援助側も安心して活動できることが大切なので、事前打ち合わせの時にマスク、消毒などについても話し合い、どのようにするかお互いで決めていただくことになりました。活動に使用する消毒、マスク、除菌シートを引き続き配布していますので、必要な場合はセンターまでお越しください。

センターからのお知らせ

令和5年度4月1日のこども家庭庁発足に伴い、ファミリーサポートセンター事業の所管は厚生労働省からこども家庭庁に移管されました。

『こども家庭庁』は、政府で管轄する子どもに関する施策、活動の一元化を目的に設立されました。

地区交流会について

コロナの5類移項に伴い、地区交流会も再開を予定しています。各地区の様子を見ながら、ご参加ください。開催が決まり次第、お知らせします。

☆電話番号の変更などで、連絡の取れない場合があります。電話番号、連絡先などが変わられた時は、センターまでご連絡ください。よろしくお願い致します。



東海市ファミリーサポートセンター
〒477-0031
東海市大田町後田 20-1 (ソラト太田川3階)
電話・fax 0562-85-6556



＜懐かしい童謡やわらべ歌に合わせてからだを動かし、ふれあい遊び＞

『たきび』、『せんすいかん』

歌いながら動き、曲の切れ目で近くの人とエアタッチ
・エアタッチを通して初めて会う人とも言葉を交わすきっかけに。(大人同士でも盛り上がりました！)
※コロナ禍の開催の為エアタッチでしたが、本当のタッチでもOK だそうです。



『むすんでひらいて』

「♪その手を上に～」で、違う動きを伝える
・イレギュラーな動きを取り入れると、「次はどんな動きかな？」と子どもの期待感が増す。

『ひなまつり』、『めだかの学校』

・子どもたちは替え歌が大好き！曲にまつわるエピソードを知ること
で、曲に対する興味や関心が湧く。



『いないいないばあ』

顔を見て、目を合わせて、信頼関係を確認できる
・子どもの目はときめきでいっぱい！その子と関われるのは素晴らしいこと！遊びを通して心を通わせる。思い出を子どもに提供する。



『げんこつ山のたぬきさん』から続けて『ゆりかごのうた』

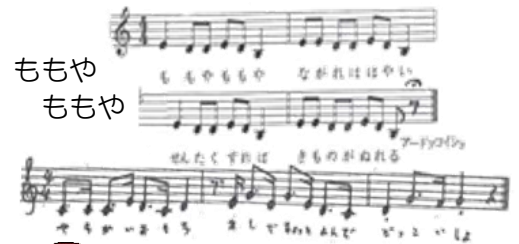
・上皇后美智子様が昔カナダを訪問した際に『ゆりかごのうた』を歌った。
歌詞に出てくる「木ねずみ(=リス)、びわ、カナリア、月」は黄色で、温かみを感じられる。
☆ふれあい遊びのなかでのほほえみ、表情、ぬくもりが愛情を育てる。

＜新聞紙を使って遊ぶ＞

☆遊びに使う前に新聞の記事や写真を題材にして会話を楽しむことで子どもの興味が広がる。

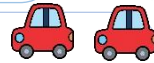
新聞紙の棒を子どもの脚に見立ててふれあい遊び

- ・『せっせっせーの よいよいよい』 手でやるようにして足を動かす
- ・『たけのこ出たよ』 寝かせた子どもの脚を歌に合わせて動かす
- ・『ももやももや』 洗濯の歌詞に合わせてハンカチ遊び
- ・『あんたがたどこさ』 「さ」のタイミングで、あっちむいてほい！



新聞紙の棒を輪にする

- ・輪っかをハンドルに見立ててドライブ
- ・上に投げる間に何回手を叩けるか
- ・二人一組で輪投げ 投げられた輪を手や足にひっかける(成功すると嬉しい！)
- ・フリスビーのように遠くまで飛ばす(シンプルだけど結構難しい！)



細長く丸めて棒を作る

二人一組になって棒を振り下ろす人と手で受け止める人で攻撃と守備！

まとめ

- ☆生歌でたくさん歌ってあげることで、信頼関係や愛情が育まれる。
- ☆大人も子どもも、どうやったら輪投げが成功する？ どうしたらもっと楽しい？と考えて工夫して遊ぶ。
- ☆人がやっている姿を見るのも勉強になる。
- ☆身近なものを代用して遊ぶことができる。



◆昔懐かしいわらべ歌や身近にあるものを使って、おもちゃで遊ぶのとは違った面白さ、ふれあい、人と関わるあたたかさなどを感じることができました。援助活動などでも参考にしていけるといいですね。